

事業のご報告

第47期 中間 株主の皆様へ

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

株式会社MARUWA

証券コード：5344



第2回オトのじかん～MARUWAの音楽会～ 福島県立郡山支援学校にて



株式会社 MARUWA QUARTZ 株式会社 MARUWA CERAMIC 株式会社 MARUWA SHOMEI 株式会社 YAMAGIWA

連結業績ハイライト

売上高

20,340 百万円

営業利益

4,148 百万円

経常利益

4,176 百万円

親会社株主に帰属する
四半期純利益

2,868 百万円

当第2四半期決算のポイント

POINT
1

差別化製品が
堅調に推移

POINT
2

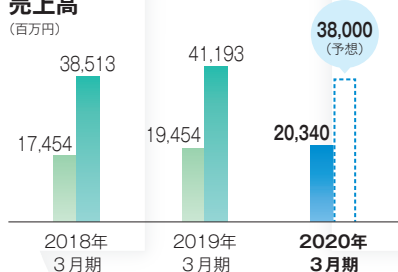
第2四半期業績
過去最高3期連続更新

POINT
3

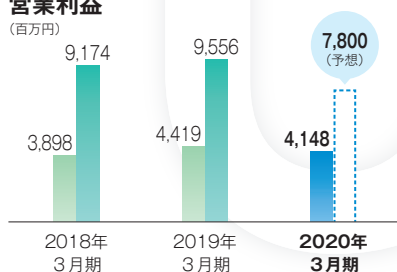
将来を見据えた
事業の構築

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 当第2四半期 □ 通期予想

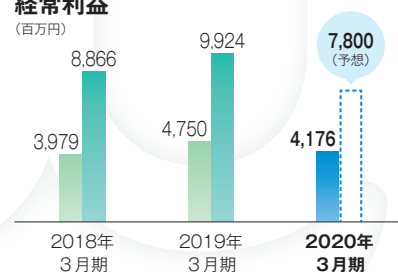
売上高 (百万円)



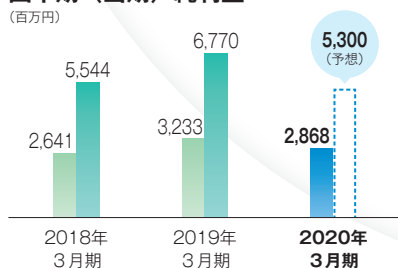
営業利益 (百万円)



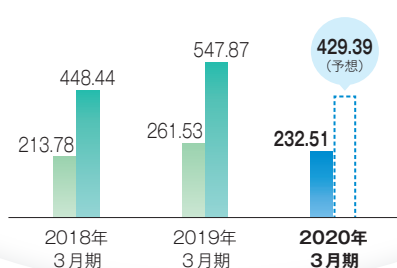
経常利益 (百万円)



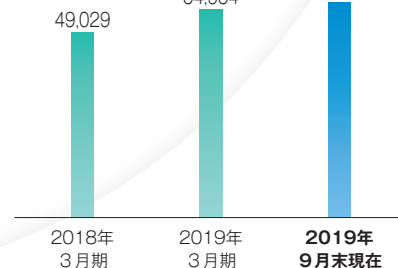
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益 (百万円)



1株当たり四半期（当期）純利益 (円)



純資産 (百万円)



株主の皆様へ

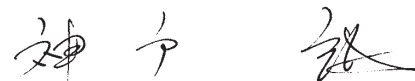
株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年9月30日をもちまして、第47期第2四半期連結累計期間（中間期）（2019年4月1日から2019年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに「第47期中間 事業のご報告」をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。また、当期中間配当については従来予想の1株当たり26円（前期実績から2円増配）とすることにいたしました。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長



当第2四半期の連結業績の概況

当期間におけるわが国の経済は、日韓関係の悪化、米中貿易摩擦の激化などにより景気は横ばいで推移しました。海外においては、米国経済は底堅く推移したものの、中国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題、地政学リスクの顕在化など先行きの不透明感はこれまでに以上に強まりました。

当社関連のエレクトロニクス市場では、輸出の減少や設備投資の抑制により景況悪化の懸念が続きました。しかしながら、車載の電装化や次世代通信規格を見据えた製品など、次世代の成長市場に向けた高付加価値製品の需要は底堅く推移しました。

当社グループは次世代の成長市場に特化し、高度な材料技術や独自の製造技術による差別化製品の開発及び拡販を推し進めた結果、売上は堅調に推移しました。利益については、照明機器事業において、将来を見据えた構造改革費用が増加したため減益となりました。

以上の結果、売上高20,340百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益4,148百万円（前年同期比6.1%減）、経常利益4,176百万円（前年同期比12.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,868百万円（前年同期比11.3%減）となり、期初に予想した売上高及び各利益を大幅に上回る結果となりました。

セグメント別の概況と事業領域

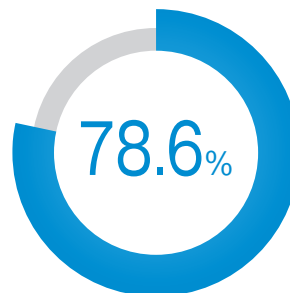
セラミック部品事業

売上高 15,979 百万円

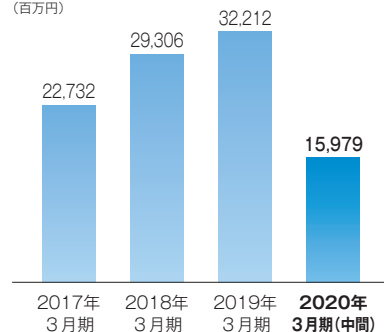
当事業における市況は、汎用製品については消費減速や半導体市場の低迷により、在庫調整の長期化、設備投資の抑制が続いたものの、当社が得意とする差別化製品の売上は堅調に推移しました。利益については、半導体関連製品において一部在庫の見直しを行い、約190百万円の減益となりました。

以上の結果、売上高15,979百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益4,420百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

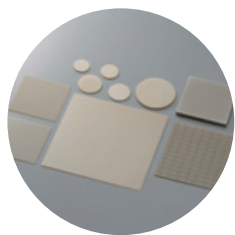
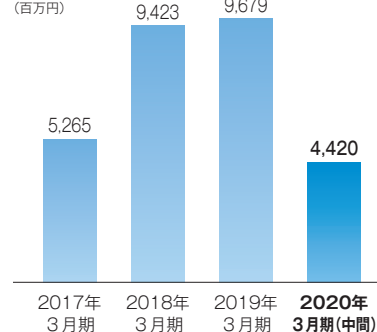
売上高構成比



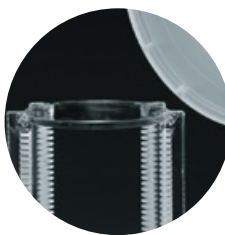
売上高 (百万円)



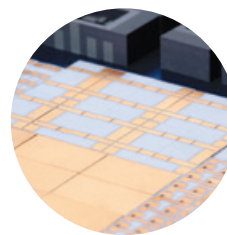
利益 (百万円)



窒化アルミニウム基板



石英ガラス製品



多層回路基板

照明機器事業

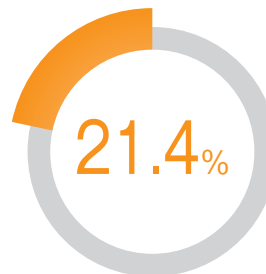
売上高 4,361 百万円

当事業における市況は、省エネ性が高く環境に配慮した機器への交換需要などが堅調に推移しました。

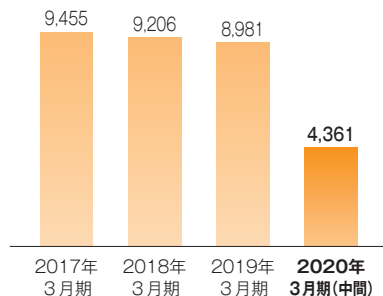
このような中、高輝度性能や配光性能が向上した製品、高演色光源を採用した製品の売上が好調に推移し増収となりました。利益については、余剰在庫の見直しを行ったことから減益となりました。

以上の結果、売上高4,361百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益189百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

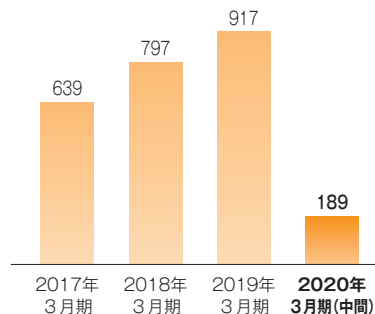
売上高構成比



売上高 (百万円)



利益 (百万円)



LED道路照明



LED屋外照明



各種施設照明設計

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	前期 2019年3月31日	当第2四半期 2019年9月30日
流動資産	45,575	45,410
現金及び預金	22,627	25,940
受取手形及び売掛金	10,266	8,896
電子記録債権	1,476	1,115
たな卸資産	9,776	8,660
貸倒引当金	△ 1	△ 4
その他	1,430	802
固定資産	19,052	20,046
有形固定資産	16,347	17,342
建物及び構築物	6,070	6,103
機械装置及び運搬具	4,634	5,112
土地	4,003	4,034
建設仮勘定	813	1,313
その他	825	777
無形固定資産	533	501
投資その他の資産	2,171	2,203
資産合計	64,627	65,457

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日
売上高	19,454	20,340
売上原価	11,047	12,124
売上総利益	8,407	8,216
販売費及び一般管理費	3,987	4,067
営業利益	4,419	4,148
営業外収益	365	97
営業外費用	34	69
経常利益	4,750	4,176
特別利益	6	1
特別損失	13	55
税金等調整前四半期純利益	4,743	4,121
法人税、住民税及び事業税	1,437	1,367
法人税等調整額	73	△ 113
四半期純利益	3,233	2,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,233	2,868

負債及び純資産の部	前期 2019年3月31日	当第2四半期 2019年9月30日
流動負債	8,860	7,744
支払手形及び買掛金	2,827	2,503
電子記録債務	1,704	1,069
未払法人税等	1,590	1,448
その他	2,738	2,722
固定負債	812	781
繰延税金負債	452	408
その他	360	372
負債合計	9,673	8,526
株主資本	55,701	58,221
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	11,994	11,992
利益剰余金	35,249	37,821
自己株式	△ 188	△ 239
その他の包括利益累計額	△ 747	△ 1,290
その他有価証券評価差額金	117	132
為替換算調整勘定	△ 864	△ 1,422
純資産合計	54,954	56,930
負債純資産合計	64,627	65,457

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,491	5,925
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,142	△ 2,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 273	△ 358
現金及び現金同等物に係る換算差額	84	△ 145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,160	3,316
現金及び現金同等物の期首残高	21,799	22,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,959	25,765

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況／会社概要

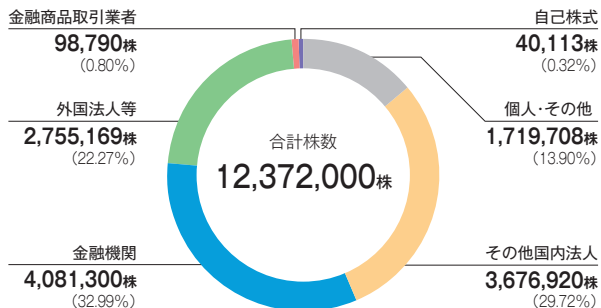
株式の状況 (2019年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	26,000,000株
■ 発行済株式の総数	12,372,000株
■ 単元株式数	100株
■ 株主数	2,786名
■ 大株主 ※上位5名を掲載	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社神戸アート	3,587,920	29.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,710,100	13.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	794,300	6.44
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	500,000	4.05
神戸 誠	300,000	2.43

持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布



役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	神戸 誠	取締役	内田 彰	社外取締役(監査等委員)	光岡 正彦
取締役	林 春行	取締役	神戸 俊郎	社外取締役(監査等委員)	松本 茂裕
取締役	マニマラン・アントニ	取締役	及位 環	社外取締役(監査等委員)	加藤 晶英

会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	株式会社MARUWA
設立年月日	1973年4月5日
事業内容	エレクトロニクス用セラミックス・産業用セラミックス・電子部品及び照明機器の開発・製造・販売
資本金	86億4,672万円
従業員数	1,710名(連結)
本社	愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
工場	土岐工場(岐阜県土岐市) 瀬戸工場(愛知県瀬戸市) 直江津工場・春日山工場(新潟県上越市)
営業拠点	東京、愛知、大阪、福島、新潟、福岡
国内子会社	株式会社MARUWA QUARTZ(福島県田村郡三春町) 石英ガラス製品の製造 株式会社MARUWA CERAMIC(愛知県尾張旭市) セラミック製品の製造 株式会社MARUWA SHOMEI(東京都港区) 照明機器の製造・販売 株式会社YAMAGIWA(東京都港区) 照明器具の企画・開発・製造・販売 照明・インテリア計画の実施及び 照明・家具の輸入・販売
海外	生産拠点 マレーシア 営業拠点 マレーシア、台湾、韓国、中国、イギリス、アメリカ

株主メモ／お知らせ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金／毎年3月31日 中間配当金／毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL (https://www.maruwa-g.com/ir/notification.html) ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	東京、名古屋、ロンドン、シンガポール
証券コード	5344
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031（フリーダイヤル）

株式会社MARUWA



株主様窓口

株式会社MARUWA 事業管理室 IRグループ
〒488-0044
愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
電話 0561-51-0841

株主優待のご案内

MARUWA WEBサイトIR情報内に株主優待に関する詳細を記載しております。
ぜひご覧ください。



<https://www.maruwa-g.com/ir/benefit/index.html>

MARUWA 株主優待

検索

